

Samuel Barber (1910-1981)
„Agnus Dei” op.11 (Arr.: Adagio for Strings)

S. バーバー「アニユス デイ (神の子羊)」

原曲は弦楽四重奏曲 第1番の第2楽章を編曲したバーバーの最も有名な曲「弦楽のためのアダージョ」である。1967年に合唱用に編曲される際、アニユス デイ (神の子羊)の歌詞が用いられた。

Agnus Dei,
Qui tollis peccata mundi,
Miserere nobis.

世の罪を除き給う
神の子羊よ
われらをあわれみ給え

Agnus Dei,
Qui tollis peccata mundi,
Dona nobis pacem.

世の罪を除き給う
神の子羊よ
われらに平安を与え給え

* 憧れと嘆願の色に染まった長いメロディーがゆっくり上昇する。それを支えるハーモニーは静かで内向的である。曲は悲しみと希望、かげりと輝きをくり返しクライマックスに向かう。最後は穏やかに静ひつな時間が流れる。